



「もみじ読書週間」の本の読み聞かせ

11月25日(月)～12月6日(金)は「もみじ読書週間」です。これをきっかけとして、男川っ子が自ら積極的に本に親しめるようになることを願っています。

【校長による読み聞かせ】

今週25日(月)の朝、もみじ読書週間のスタートに合わせて、私が校内放送で本の読み聞かせを行いました。今回は、先日、92歳で亡くなられた谷川俊太郎さんを偲んで、数ある著作の中でも、短い言葉が心に響く「きもち」という本を読みました。この本の最後は、「こども おとなも きもちは おんなじ。でも じぶんのきもちと ひとのきもちは ちがう。ひとが どんな きもちか かんがえてみよう」という作者からの投げかけの言葉で締めくくられています。この言葉

は、私が日頃から男川っ子に諭してきた「ふお～ゆ～(相手意識)」の気持ちによく通じていると思います。今回、子供たちは、改めて人の気持ちを思いやることの大切さを感じてくれたと信じています。

【図書委員による読み聞かせ】

今週は、休み時間に図書室で、図書委員が交代で本の読み聞かせを行いました。毎回、20名程度の子供たちが集まり、図書委員が読む絵本に注目していました。また、読み聞かせをする図書委員も穏やかな表情で本を読み進めることができ、よい交流ができたと感じました。



▲和やかな雰囲気で行われた読み聞かせ(左:27日 右:28日)



▲プレゼン形式での読み聞かせ



▲集中して絵本に見入る4年生



新しい体操服のお披露目

先日、学校メールで新しい体操服が完成したことをお伝えいたしましたが、今回、男川っ子にもそれをお披露目しました。新しい体操服のロゴマークは、私がデザインしましたが、それに託した思いを校内放送で子供たちに伝えました。

この体操服を着た男川っ子が、運動場で元気に活動する日が楽しみです。



爽やかで楽しい学校生活
生き生きと躍動する男川っ子

男川っ子の優しさと思いやり
(ふお～ゆ～)

▲ロゴマークに表現した3つの思い